



マスコットキャラクター
「たねっこ」

種まき通信



第42号
2022.11

編集・発行：田根地区・地域づくり協議会
〒526-0273 長浜市高畑町316-1 TEL74-1450



西池をフィールドに作品制作の可能性を検討

去る八月三十一日、二年前に大阪から長浜市に移住された方が、海外のアーティスト六名を連れて田根に来られました。目的は、田根をフィールドに「アーティスト・イン・レジデンス(AIR)」の可能性を調査するためです。

アーティスト・イン・レジデンス 海外アーティストが来訪!!

AIRとは、アーティストが一定期間ある場所に滞在して、制作活動を行うプログラムのことです。

来訪された方たちは、九月一日から一か月間、近江八幡市の由緒ある寺院に滞在し、それぞれの芸術作品を制作され、十月二十二日から十一月六日まで国内のアーティスト約二〇名とともに美術展を開催されました。

訪れた人の中には、韓国やポーランドの人とともに、この八月にウクライナから来日したばかりという若い女性アーティスト、ルイーザさんもおられました。

ルイーザさんはロシア軍が支配するザポリジャ原野がある地域の出身だそうで、勤務する学校が破壊され、ハンガリー国境近くに避難しオンラインで授業をされているそうです。来年七月に田根でもAIRが

開催できないか現在協議中です。大学生だけでなく国内外のアーティストが滞在するという地域づくりも、海北友松や小野湖山といった超一流アーティストゆかりの田根にはピッタリのような気がします。将来、田根のそこかしこに芸術作品が点在し、五先賢に続く六人目の賢人が誕生するかもしれません。



田根を訪れた海外アーティストの皆さん

はじめまして!!

田根に専修大生がやってきた



田根を訪れた専修大学の皆さん

去る九月二三日と二三日の両日、専修大学の先生と学生さん六名の計七名が初めて田根にやってきました。
今回の目的は、田根地域の子育て世代や大学生たち若い世代の考えや意見の聴き取りです。
来訪した学生さんは全員四回生



若いご夫婦から暮らしや子育てについてヒアリングしました

で、すでに就職も決まっています。一度限りの出会いですが、今回の聴き取りも含めて田根の課題や取り組みを取りまとめ、ゼミの後輩に引き継いでくれるそうです。
慶応大学の小林研究会のように、ゼミの中で代々引き継がれていくことを期待しています。

田根って、日常がいいよね



十月八日、東京大学生五名、滋賀大学生二名が田根まちづくりセンターを訪れ、オンライン座談会を開催しました。
田根に来訪した七名と東京の慶應大学生二名による座談会です。
田根に関するそれぞれの大学の取り組みについて情報交換をしている中で、慶應大生から「田根って、日常がいいよね!」という発言がありました。
ずっと田根に暮らしているとなんにも感じない「風景」や「暮らし」、文化などの日常が、都会で暮らす学生さんたちにとっては「いいよね!」という評価になるようです。気付かないからこそ、大切にしたいと思います。



オンライン座談会。東大生と滋賀大生、パソコンの向こうに慶大生。

十日には木尾町のしふアームさんでミニトマトの収穫体験をしました。
今回は、今春から米原市に移住し活動されている地域おこし協力隊の方にも参加いただき、移住経験者として田根にどんな可能性があるのかなどを東大や滋賀大の学生さんたちがヒアリングをしてくださいました。取りまとめた結果は、来年二月の報告会で聞かせていただく予定です、今から楽しみます。



田根まちセンからのお知らせ

2022
11月

生涯学習講座 参加者募集

参加ご希望の方はまちセンまでお申し込みを。(窓口、電話、FAX、メールいずれかの方法で)

『木の実のリース作り』

つるをぐるぐる巻いて、木の実やリボンで飾ります。開催日2回とも内容は同じです。



11月19日(土) 13:30~15:00

11月25日(金) 13:30~15:00

- ◆材料費:100円(当日集金)
- ◆各回定員:10名(申込順)
- ◆持ち物:特になし

【材料・道具はまちセンで用意します…つる、グルーガン、木の実(松ぼっくり・どんぐり・ツバキ殻・ワタ殻・その他)、リボン、麻ひも 他】



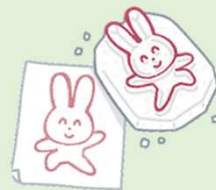
- ◆申込みメ切:開催日の1週間前

『消しゴムはんこ彫り』

初心者向けの消しゴムはんこ作り講座です。彫りやすいデザインのものを作ります。

11月26日(土) 13:30~15:00

- ◆材料費:100円(当日集金)
- ◆定員:10名(申込順)
- ◆対象:中学生以上
- ◆講師:ayuさん
- ◆持ち物:必要な方は眼鏡など
- 【材料・道具はまちセンで用意します】
- ◆申込みメ切:11月19日(土)



この日ははんこ彫りとは別に、ayuさんの彫った消しゴムはんこ110個とスタンプ12色も用意します。押したいものがあればお持ちください。



子ども学び座「石けんをつくろう」10月15日実施



石けん素地に、はちみつ・エッセンシャルオイル(オレンジカラベンダー)、ハーブティーなどを混ぜて、すきな色・すきな形の石けんを作りました。

まんまる、ハート、きりたんぽ?、えびせんべい? いろんなのができましたよ。簡単だけどとっても楽しい時間を過ごせました。4~5日乾かしたら完成です。



生涯学習講座

『空から絶景を楽しもう』

9月30日に実施しました

空撮人ゴリの名でYouTubeに美しい風景の動画を投稿されている講師を招いて、解説を聞きながら旅行気分動画鑑賞をしました。

「浅井地区はもちろんのこと、琵琶湖の風景や賤ヶ岳・余呉湖…、長浜市はこんな素敵な景色がたくさんあるよとPRしたい! ドローン撮影や編集などが楽しい!」生き生きとした表情で語る講師の先生から元気をもらえました。

→ 田根小からもらったマリーゴールドがとってもきれいに咲いています



田根まちづくりセンター

開館時間:8時30分~17時15分

(夜間使用がある日は夜間もスタッフがいます)

休館日:月曜、第1・3日曜、祝日、年末年始

〒526-0273 長浜市高畑町316-1

TEL 0749-74-1450 FAX 0749-74-1445

✉ tane-machisen@zc.ztv.ne.jp



堀田雅史の活動報告

気軽に声掛けてください！

● 専修大学 卒論研究



9月22日、23日に専修大学商学部の大崎先生とゼミの学生さんが、地域活性化をテーマにした卒論研究のために、田根地区に来ました。大崎先生とは私が前職で交流があり、退職後もやり取りをしており、田根地区に興味を示していただいたのがきっかけです。

学術的に「地域活性化」を研究しており、先生が携わっている他地域のお話を聞けたり、元氣いっぱい、の学生が田根地区の子育て世代の方、大学生の方にインタビューとさせていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。今回の研究内容の発表は年明けに行いたいと思いますので、もしご興味があればぜひご参加ください。

● 東京大学フィールドスタディ



10月8日、10日に東京大学の学生5名が企画した、「田根移住体験」のデモンストラーションを行いました。

この取り組みが今年の4月から始まった「東京大学フィールドスタディプログラム」の一環です。本来であれば企画を提案で終わるプログラムですが、本人たちの希望で実際に行ってみようということで実現しました。

8月には慶応大学のワークショップに参加し、その時に交流した慶応大生や滋賀大生も今回一緒に協力してくれました。

一般の参加者はいなかったのですが、本人たちは「移住者呼び込む難しさを感じました」と口にしていました。「移住者増し地域活性化」ではないことを学生たちも気付いてくれたかもしれませんね。

プロフィール

堀田 雅史 ほった まさし

1986年、埼玉県桶川市で生まれ、群馬県東吾妻町で育ちました。趣味は、サッカーとフットサルです！



TANEMASA2022

Instagram始めました！
ゆるーく投稿しますので
フォローお願いします！

編集後記

今月も多くの学生と交流出来ました。今までは「田根地区」での活動を中心に田根の魅力を探していましたが、長浜市全体の見学や活動が印象的でした。田根地区だけでは生活出来ないため、広い視野で考えていかなければいけないなど、改めて私も気付かされました。

11月は慶応大学の学生が来る予定です。詳しい日程や活動内容はまだわかりませんが、多くの学生が地域に溶け込めるように出来たら嬉しいと思います。